



2022. 4. 7 / Thu / 16:30~18:00

ものづくり共創オンラインセミナー



小野寺 忠司



浜野 慶一



山本 尚史



吉田 圭



大河原 真樹

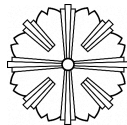


小林 剛也

主催



山形県



米沢市

共催

米沢ものづくり振興協議会

後援

スタートアップステーション 
ジョージ山形

1 目的

○ 米沢駅2階に新たに誕生したコワーキングスペースを拠点に、ESG技術を活用した新たなビジネスの創出を行うためのコミュニティ作りを行うキックオフイベント。

○ 新たにできたコミュニティの中で新規プロジェクトや取引に繋げ、将来的にはこのコワーキングスペースが、ESG技術の分野において米沢・置賜地方・県内外の企業の共創拠点として、ハイブリッドに繋がるようなハブ機能(コミュニティの拠点)を目指していく。

※ ESG(環境・社会・ガバナンスに配慮した企業の取組)

2 開催概要

【日時】 令和4年4月7日(木) 16:30~18:00

【主催】 山形県 ・ 米沢市

【共催】 米沢ものづくり振興協議会

【方式】 米沢駅2階コワーキングスペースでリアルとオンライン(Zoom)のハイブリッド開催

【申込】 以下のメールアドレスに空メールを送信いただくと、当日までにZoomURLを返信します。

kougvo-t@city.yonezawa.yamagata.jp

3 プログラム

16:30~16:35	ウェルカムスピーチ 米沢市長 中川勝
16:35~18:00	パネルディスカッション 「米沢ESGバレー構想と米沢駅2階のコワーキングスペースの潜在可能性」 モデレーター 小林 剛也 氏(財務総合政策研究所客員研究員) パネリスト 大河原 真樹 氏(米沢市副市長) (五十音順) 小野寺 忠司 氏(山形大学アントレプレナーシップ開発センター長) 浜野 慶一 氏(株)浜野製作所代表取締役CEO) 山本 尚史 氏(拓殖大学政経学部教授) 吉田 圭 氏(一般社団法人スマートニッチ応援団代表理事)

4 登壇者一覧

モデレーター



小林 剛也 氏

財務総合政策研究所客員研究員／山形県総務部長
政策クリエイター兼ストリートピアニスト。財務省、国際機関、在ドイツ大使館等で勤務。「地域経済エコシステム」「スマートニッチ」など、新概念の創出と具現化に明け暮れる釣り人。

パネリスト (五十音順)



大河原 真樹 氏

米沢市副市長
昭和55年より教員として市内中学校及び行政機関に勤務。平成28年米沢市教育長を経て、令和2年4月より現職。趣味は旅行で、犬の散歩と晩酌するのが日課。座右の銘は『雨の日には雨の中を、風の日には風の中を。』



小野寺 忠司 氏

山形大学アントレプレナーシップ開発センター長

1982年4月日本電気入社。NECパソコン開発に配属され、NEC初のPC98ノートの開発を皮切りに、PCの開発のリーダーとして商品開発に従事。

2012年、NECパーソナル執行役員を経て、レノボ役員に就任。

2017年4月レノボを退職して山形大学へ。国際事業化研究センター長(教授)、有機材料システム事業創出センター長に就任。

イノベーション創出に向けて活動やアントレプレナー教育、企業経営指導、起業家育成教育を行い約3年間で14社のベンチャーを立ち上げた。

2022年4月より現職。



浜野 慶一 氏

株式会社浜野製作所代表取締役CEO/スマートニッチ友の会の会長

1962年東京都生まれ。84年東海大学政治経済学部卒業、板橋区の精密板金加工メーカーに就職。93年浜野製作所創業者である父の死去に伴い、同社社長に就任。「お客さま、スタッフ、地域」への感謝・還元を経営理念としている。産学官連携として電気自動車「HOKUSAI」、深海探査艇「江戸っ子一号」、異業種連携としてアウトオブキッズニアによる工作教室、工場巡りツアー・スミファを主催する「配財プロジェクト」、さらにはベンチャー企業を支援する「Garage Sumida」など、多数のプロジェクト事業に取り組む。



山本 尚史 氏

拓殖大学政経学部教授

筑波大学国際関係学類卒業、プリンストン大学にて公共政策学修士、ハワイ大学にて経済学博士を取得。

海外コンサルティング企業協会、世界銀行、海外経済協力基金、ハワイ大学、国際教養大学等に勤務。

現在、総務省地域力創造アドバイザー、東村山市創成総合戦略推進協議会会長、山武市エコノミックガーデニング推進協議会アドバイザーなどとして、地域経済活性化について提案及び助言。



吉田 圭 氏

一般社団法人スマートニッチ応援団 代表理事

子供たちと地域の未来のため、先駆者の知恵を次世代につなげることを目的に「町が人を育てる」地域産業のオープン・エデュケーション(開かれた教育)を目指して様々な取組を行っている一般社団法人スマートニッチ応援団の代表。主な取組「中小企業DAY(中小企業庁後援)」「モノづくりキッズパーク(中小企業庁後援)」「さかな文化祭(水産庁後援)」など、1年を通じて地域産業の発展及び活性化に資する活動を行っている。2021年には水産庁広報アドバイザーとして水産庁に出向。中央省庁や行政自治体の事業を多く手掛けている。